

# 研究者の水漏れパイプ問題

## <アンケート結果集計>

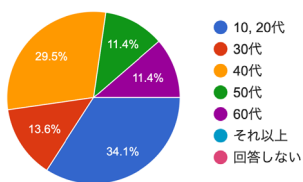
アンケート回答期間：2025年3月17日～3月21日

(\*大会後も2ヶ月間回答募るも, 最終回答は3/21)

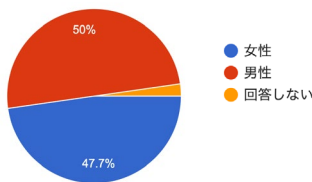
回答者数：44名

### 1. 回答者の基本属性

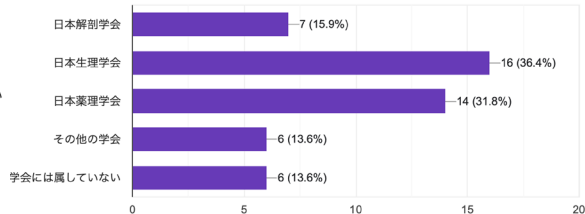
#### 【年齢】



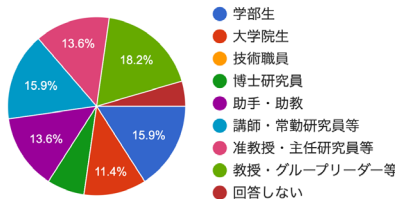
#### 【性別】



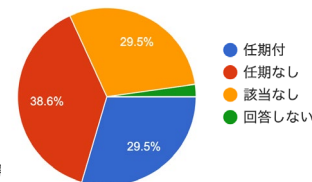
#### 【所属学会】



#### 【職位】



#### 【任期付の有無】

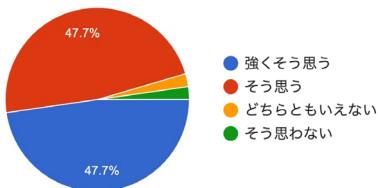


- ・回答者の年代は10・20代が最多であった (実質20代と考えられる)
- ・男女ほぼ同数であった
- ・生理学会員が最多であった (重複あり)

\* 助手・助教以上の職位には特任・嘱託を含む

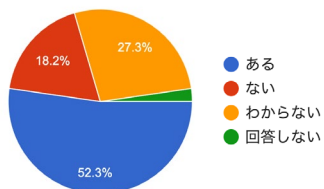
### 2. シンポジウムの感想

シンポジウムにより研究者の水漏れパイプに対する問題意識や関心が高まりましたか？



ほとんどがポジティブな感想で、「水漏れ問題に理解が深まった」と答えていた

### 3. キャリアパスからの脱落への危機感



#### <コメントのまとめ>

- ・ 任期切れ、選考から外れた、など将来像に対する不安 (8件)
- ・ 能力や動機づけ：業績が上がらない、昇任しない、研究費が獲得できないなど自身の能力や動機づけに疑問を持ったとき (6件)
- ・ 妊娠出産、子育て、病気 (家族のも含む) などに伴う葛藤 (5件)

## 4. 水漏れパイプ問題やその解決策について

<コメントのまとめ>

- 制度・しくみの改革を望む声（6件）
  - 研究期間が少なくなりがちな女性・子育て世代の事情を勘案して、ライフイベントに対応できる勤務体系（1件）
  - 普通の会社と同じような残業代の出し方や時間の管理（1件）
  - これまでの研究だけでなく今後の研究アイデア等に対する評価（1件）
  - 様々な支援の充実、多様なキャリアパスなどの制度設計（3件）
- 子育て世代や女性研究者の苦労に対する理解を求める声（2件）
- その他（各1件ずつ）
  - 男女関係なく地道に頑張る
  - 全員を任期付にすれば努力する人が報われるようになる
  - 任期付の撤廃
  - キャリアパスから脱落しそうな人は研究者の道に進ませない
  - 働くことと研究することの目的をしっかりと持つ

## 5. 講演に対する感想

<コメントのまとめ>

- 具体的な体験談（改善や支援など）を聞いたのが良かった（2件）
- 大変な苦労・努力、周囲の強いサポートがあって成り立っている現実を感じた（2件）
- 定石通りにはいかない女性のライフプランをアピールしてほしい、アカデミアに残りたいと頑張っている人が報われるような社会になってほしいなどの感想（各1件）

## 6. プログラム全体や総合討論についての感想

<コメントのまとめ>

- 示唆に富んだ内容で感銘を受けたなどの感想（3件）
- 励まされた、心強く感じたといった感想（2件）
- 他に、質疑時間が少ない、もっと広い会場がよかったという意見（各1件）、今後の託児所、旅費補助の充実を願う感想（1件）もあった。

## 7. シンポジウムで企画してほしいテーマ

<コメントのまとめ>

- 研究者としてのキャリアを断念した人の意見や状況を知りたい
- 大学院進学者の進路状況、結婚の有無の状況などについて
- 目覚ましい成果をあげられている女性研究者の上司のお考えや実際の支援状況
- 氷河期世代の実情を本人から知りたい
- 学生、院生目線のダイバーシティ

## 8. ダイバーシティ関連活動に期待することなど

<コメントのまとめ>

- 研究者としてのサバイバル能力についてのセミナー
- 博士取得者の結婚事情などを結婚相談所を営んでいる企業による講演
- 女性支援策がありすぎて、逆差別のように感じる。男性にも公平な支援を
- 逆に任期ありで雇い止め無しの社会になるといいかもしれません。
- 経験していないことは、寄り添うことは難しいので、大学、国の単位で公平な政策の実行を。
- 雇い止めがなくなるように活動を。

本企画では、多くの貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。  
自由記述に関しては、要約のうえ掲載しております。